

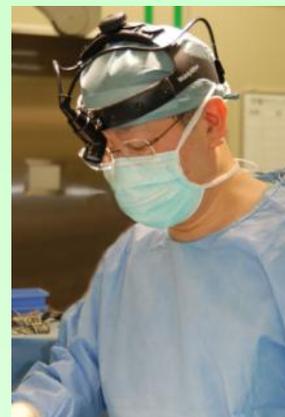
ふれあいひろば



[患者とともにある全人的医療]

第7回五大がんに関する市民公開講座

◆肺がんの外科治療

呼吸器外科
金沢 宏

「肺がん」は徐々に増加している悪性の病気です。肺がんによる死亡率は、1950年代から世界的に増加しており、日本も同様に増加しています。2005年の人口動態統計では、日本における死因の第1位は「がん」であり30.1%を占めています。そのなかでも死亡率の第1位は「肺がん」で人口10万人あたり49.2人です。男性では「肺がん」が最も死亡率が高く23.0%であり、女性では「胃がん」に次いで「肺がん」が13.0%でした。

「肺がん」に対する手術は、がん細胞のすべてを取り除くことを目的とします。がんが残らないように広がりを考えながら手術をするためにあらかじめ病変の広がりを推測する必要があります。胸部レントゲン写真やCT検査などで広がりを推測します。気管支鏡検査や、皮膚から針をさして細胞をとる経皮肺生検、また手術の最中に肺の組織をとって検査するなど病変ががんであることを確認します。

手術を行える条件は、①手術で切除可能などころのみにがんが存在すること、②手術に耐えられる体力があること、が挙げられます。手術で切除可能な範囲とは片側の肺葉に限局して存在することで、①非小細胞肺がんの病期Ⅰ、Ⅱ期およびⅢA期の一部、②小細胞肺がんのⅠ期が相当します。

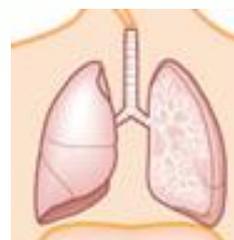
標準的な手術方法は、がんが発生した一つの肺葉ごと切除する方法で「肺葉切除術」といいます。がん細胞はリンパ節に転移しやすいため、肺葉を切除しても肺門部や縦隔にあるリンパ節にがん細胞が残っている可能性があり、リンパ節を取り除く「リンパ節の郭清かくせい」を行います。広がりによっては右肺の上葉と中葉、ある

いは中葉と下葉の2つをあわせて切除する「2葉切除術」、がんが肺門付近にまで浸潤している場合に、右肺あるいは左肺の全部を取り除く「片肺全摘出術」が行われることもあります。

がんが非常に小さい場合は、がんの病巣部位だけをとる「区域切除」、「部分切除」を行うこともあります。切除する肺の部分が小さいため、手術後の肺活量の低下が軽減されることから呼吸機能に問題のある人に行われることが多いです。

肺がんの手術手技では、開胸手術と胸腔鏡手術があります。開胸手術は従来から行われている方法で、肩甲骨の内側から肋骨に沿って斜めに大きく切開します。大きく視野を確保し、手を直接挿入して手術操作をします。これに対し「胸腔鏡手術」は、胸壁に穴を開けて硬性鏡（カメラ）を胸腔の中に入れ、胸腔の内部を観察し、別に開けた小穴から処置具を差し込んで手術を行います。傷が小さく術後の痛みも少なく身体への負担が少ない利点がありますが、出血時の対応が難しく医師の慣れが必要で、かなりの熟練を要するという欠点もあります。

手術についてお話ししましたが、化学療法、放射線療法などと組み合わせた治療が必要になることもあります。主治医の先生と十分話し合われて治療方針を決められるのがいいでしょう。



◆DMATのご紹介

救命救急・循環器病・脳卒中センター
熊谷 謙

[DMATとは]

近ごろ災害が起こるたびに新聞やテレビでDMAT(ディーマットと読みます)という言葉を見聞きすることが多くなりました。DMATはDisaster Medical Assistance Teamの略で「災害派遣医療チーム」という意味です。

平成7年の阪神淡路大震災では、被災地内の医療施設が大きな被害を受け機能を失ったにも関わらず多数の重症患者さんが発生したため、十分な医療を行うことができず多くの命を失う結果となってしまいました。事後検証では早期に被災地外からの医療支援が入っていれば犠牲者を500名以上減らせたはずだと言われています。国はその教訓をもとに、専門的な訓練を受け災害発生直後から被災地に入って活動できるような機動性を持った医療チームの養成を始めました。それがDMATなのです。

DMATは災害医療の専門研修を受講し、試験に合格して厚生労働省に認定された医師、看護師、薬剤師や事務員などで構成され、現在全国に約800チーム(隊員数約4000名)、新潟県内にも11病院にそれぞれ1～2チームが配置され、これまでも平成19年の中越沖地震をはじめ数々の災害で活動してきました。



した医療へ移っていきます。

DMATが主に担うのは災害発生直後の重症外傷患者さんを対象とした救急医療であるため、一分一秒でも早く確実に被災地に入らなくてはなりません。そのために災害発生のお知らせが隊員個々の携帯電話に電子メールで届いたり、電話が不通になっても衛星電話やインターネットを使って情報交換できるなど特別な装備と態勢がとられています。DMATの医師、看護師はトリアージや重症外傷の治療はもちろん、消防や自衛隊との連携方法や無線通信など一般の医療者が持たない知識、技術も訓練され身に付けています。

[東日本大震災におけるDMATの活動]

今年3月11日に発生した地震と津波は3万人近い死者・行方不明者を出す大災害となってしまいましたが、DMATもこれまでにない規模で活動し負傷者の救命に努力しました。東北近県だけでなく、九州や関西、北海道からも自衛隊の輸送機でDMATが投入され200チーム近くが被災地内で活動したほか、被災地内での治療が困難な重症患者さんを自衛隊機で東京や北海道の病院へ遠距離搬送しました。当院DMATは福島県で活動したDMAT全体の指揮を執ったほか、放射線被ばくの可能性のある患者さんの処置にも従事しました。

新潟県は原発災害で病院ごと避難せざるを得なくなった福島の患者さんを多数受け入れましたが、その際の集団患者移送にも県内のDMATが活躍し、無事に県内の各病院へ分散して転院してもらうことができました。



[災害時の医療とDMAT]

災害発生直後は重症の外傷(ケガ)患者さんが多数発生するため、重症者を優先的に選び抜き(トリアージといいます)効率よく治療をする救急医療が必要とされます。救急医療は概ね2～3日で終息しますが、その後は避難所生活で風邪をひくなど体調を崩した人や透析など持病の治療が災害を契機に中断してしまった人、あるいは不安や不眠など心のケアを要する人を対象と

院内の気になる樹

管理課 勝又 契

VOL.6 市民病院を彩る低木を紹介します。

ツツジ類 ツツジ科

花言葉は「愛の喜び・節制・幸福」など

庭園・公園・街路に欠かせない大人気の花木！

サツキツツジ／日本原産で千種以上の園芸品種があり、五月下旬に朱紅色の花が咲き乱れます。冬季、赤紫に紅葉した葉は他に類を見ない美しさです。

オオムラサキツツジ／ヒラドツツジの一品種で、大輪の花を沢山つけます。公園や街路に最も多く利用され、耐寒性が有り大気汚染にも強い庭木です。



サツキツツジ



オオムラサキツツジ



語源は「悪し実」や「足しびれ」から!?

アセビ 馬酔木 ツツジ科

自然な枝葉の姿が美しい、上品な花木！

日本原産で、早春に白や赤味を帯びたツボ形の花を沢山垂らします。有毒植物で、馬がこの葉を食べると中毒を起し酔った様になる事から「馬酔木」が当てられました。



晩秋、美しい紫色に熟す果実は小鳥に大人気！



コムラサキシキブ

小紫式部 クマツヅラ科

平安の女流作家を名乗る魅惑の落葉小低木！

日本・中国原産。枝が弧を描くように伸びる様は野趣に富んだ風情があります。庭木や鉢植え、切り花等として利用されます。

ヒサカキ 姫榊 ツバキ科

神社・公園・庭木・生け垣として多く利用！

サカキの語源は神と人との境であることから「境木(さかき)」の意とされています。関東以北では本榊(ホンサカキ)が入手しづらく、墓や神棚へのお供えや玉串には少し小ぶりのヒサカキを利用しています。



葉は光沢が有り清楚で美しい！



クチナシ アカネ科

大輪の白花から香る甘い芳香が魅力！

東北南部以南に分布し、庭木や公園に多く利用されています。六月下旬、純白の大輪が目を引きまます。果実は熟しても口が開かないので「口無し」の名が付いたと云われています。



花言葉は「純潔・清潔・清楚・清浄優雅・幸福」など

ファイリフェラオーレア ヒノキ科 サワラの品種

彩りのグラウンドカバーとして人気上昇中！

春夏秋冬、黄金色の枝垂れた葉が美しい黄葉品種です。洋風庭園や公園で多彩に利用されています。耐寒・耐暑・耐乾性が有り、萌芽力も強いので刈込みに適しています。



きれいな黄葉です！

◆<登録医紹介>

医 院 名：関屋田町クリニック 院長：林 恒美
診療科目：神経内科、内科
住 所：951-8136 新潟市中央区関屋田町1-6-2
電話番号：025-266-7722
診療時間：月・火・木・金 9：00-12：30 15：00-18：00（院長 林 恒美診察）
水（午前休診） 15：00-18：00（副院長 林 浩司診察）
土 9：00-12：30（院長 林 恒美診察）

休 診 日：日・祝日

自院特徴と診療方針

- ・糖尿病・高脂血症・高血圧症などの生活習慣病の治療を行い、心筋梗塞や脳卒中の予防をめざしております。認知症や、パーキンソン病、片頭痛など神経内科疾患についても相談ください。また、各種ワクチンの接種、健診なども行っております。“住宅型有料老人ホームサニーウイング関屋”、“ウイング関屋デイサービスセンター・訪問介護ステーション・居宅介護支援事業所”がオープンしまして、当老人ホームへの往診、医療的サービス・介護に対する適切な助言・支援を行っております。一人暮らしが不安な方、介護が必要な方は、どうぞ気軽に相談ください。（TEL.025-234-6155）
- ・月に1回程度、土曜日13：30～15：30、ウイング関屋デイサービスセンターにおいて、健康教室を開催しております。糖尿病や脳梗塞・認知症などのお話、お茶タイム、質問コーナーがあります。参加希望の方は、お電話ください。今までの開催内容はサニーウイング関屋のホームページイベント紹介コーナーをご覧ください。（<http://www.maj.co.jp/event/index.html>）



医 院 名：うちだ内科医院 院長：内田 守昭
診療科目：内科、消化器内科、内視鏡内科
住 所：959-2062 阿賀野市市野山192-3
電話番号：0250-61-2020
診療時間：月・火・水・金 9：00-12：00 15：00-18：00
木・土 9：00-12：00

休 診 日：日・祝日

自院特徴と診療方針

- ・地域の方々の健康について、ご相談いただけたらと思います。



★★生命保険などの証明書や診断書の様式変更のお知らせ★★

当院では、証明書発行までの日数を短縮するために、平成23年4月から保険会社に提出する証明書や診断書を、標準的な統一様式で作成することといたしましたのでご了承ください。

市民病院のホームページもご覧ください
<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院 広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151

Fax 025 (281) 5187

編集後記

「院内の気になる樹」シリーズは、今月号で終了です。

地図と合わせた総集編を、図書コーナーに置きました。

新緑が美しい季節となりましたので、みなさんぜひ散策してみてください。（K. S.）